



# 志高く!

教育目標  
 「志高く 遅しく 切り拓く」  
 目指す生徒の姿  
 「主体的に考え 判断し  
 勇気をもって行動する！」

◆麻生中学校だより◆  
 Tel 80-8070  
 Fax 77-0840  
<http://www.sopia.or.jp/n-asojh/>  
 行方市南327の3  
 令和3年7月6日発行  
 令和3年度 第12号

## ◆東京2020オリンピック聖火リレースタートセレモニーにて吹奏楽部演奏！◆



7月5日（月）午後5時、行方市玉造の「霞ヶ浦ふれあいランド」を会場に、「東京2020オリンピック聖火リレースタートセレモニー」が開催されました。そのイベントの一つとして、本校吹奏楽部が演奏を披露しました。演奏した曲は、「パプリカ」で、この曲は、「あしたにたねをまこう！」というキャッチコピーのもと、未来に向けて頑張っているすべての人を応援していくプロジェクトのプロジェクト曲としてつくられたものです。まさに本セレモニーにふさわしい曲だと思います。



セレモニー開始直前まで小雨が降っていましたが、演奏開始時に雨が上がり、生徒たちの演奏を盛り上げてくれているかのようでした。演奏は、セレモニー開始時と第一聖火ランナーのスタート時に行いました。生徒たちの演奏は、会場に居た全ての人に優しい気持ちを届け、また、聖火ランナーの方には勇気を届けることに繋がったと思います。

オリンピックという世紀のイベントに少しかもしれませんが、花を添えたという事実は、生徒にとっても我々職員にとっても大変有り難い、そしてすばらしい思い出となりました。

## ◆第1回 茨城大学と連携した授業改善◆

6月29日（火）、今年度で5年目の取組となる、「茨城大学と連携した授業改善」の第1回目を実施しました。アドバイザーとして、茨城大学大学院教授の打越正貴先生、同助教の宮本浩紀先生をお迎えし、授業参観、研究協議への参加、講師指導をいただきました。また、茨城大学教育学部の学生3名も参加してくれました。



今回は、5校時に、山本毅彦先生が、3年3組で、英語「Haiku in English」の授業を、「日本語と英語の俳句の表現方法の類似点や相違点の理解を通して、俳句が海外で愛されている理由の概要を捉える」という目標に迫るために行いました。6校時には、小林圭先生が、3年1組で、国語「編集して伝えよう」の授業を、「伝える文章の構成や表現を工夫して書くことができる」という目標に迫るために行いました。どちらの授業もタブレットPCや大型モニターなどのICT機器を活用し、協働的・探究的な学びを展開していました。



放課後の研究協議では、積極的な意見交換が行われ、これからの授業実践に向けて、全職員が成果と課題に基づく改善を図っていこうとする意識が高揚しました。



## ◆七夕飾り◆

現在、階段に七夕の笹飾りを飾ってあります。昨年度までは、図書室前のコモンスペースに飾っていたのですが、今年度は、竹の大きさの関係で階段を利用した次第です。

笹飾りには、生徒たちの願いが綴られた色とりどりの短冊が飾り付けられ、この時季にあった季節感を味わうことができます。また、短冊には、部活動のことや友人のこと、空想的なこと、ロマンチックなことなど、様々な願い事が記されており、読んでいて微笑ましくなってきます。

忙しい日々を過ごしていく中、四季のある日本ならではの特徴的な催しがおざりになっていく感が否めません。そういう意味からも本取組は継続していきたいと思っています。



